

1 学校教育目標

① なかよく ② げんきに ③ がんばる ④ 宮城の子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	保護者、地域社会に信頼され、ともに歩む学校 ・地域に1つの小学校として、質の高い教育を提供し、誇りを感じることができる学校 ・児童が豊かな経験を積み重ねて、健やかに成長し、保護者から信頼を得る学校 ・児童も教師も保護者とともに学び、日々成長することができる学校 ・特別支援学級の設置校として、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の工夫ができる学校
○児童・生徒像	なかよく、元気に、がんばる 宮城の子・・・教育目標 ・なかよく・・・豊かな心、望ましい人間関係、社会貢献力 ・元気に・・・健康な心とからだ、基礎的生活習慣の確立、たくましい意志と体力 ・がんばる・・・確かな学力、問題解決能力と態度、創造力、表現力 ・宮城の子・・・自らの存在や学力に自信をもつ、地域への感謝と誇り
○教師像	児童、保護者、地域社会の期待と信頼に応える教師 ・児童の学力向上や体力向上のため、惜しまず力を注ぐことのできる教師。 ・一人一人の児童の人権を大切にし、保護者、地域から信頼される教師。 ・課題解決のためにコミュニケーションを図り、全力で方法を見つけ、解決できる教師集団。

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

現状
 地域に1つの学校として、就学前からのつながりや、祖父母の代から本校に関わっているなどの特徴がある。そのため児童は、上級生がよき手本となり、下級生はそれを見習おうとする意識がある。教員は、ベテラン層は少ないが、中堅と若手のバランスがあり、円滑にコミュニケーションを図る事ができている。2年間のコロナ禍への対応で、従来の学校の諸活動ができなかったため、本校の良さの1つである「地域と連携した諸活動を通して、地域で育てること」が実施できていないため、改めて地域とのつながりを再構築していく必要性を感じている。引き続きサービスの厳正に努めコンプライアンスの徹底と風通しのよい円滑なコミュニケーションの2点を経営の重点としていく。

成果
 ○コロナ禍の下、国・算・理・社・英語(外国語)の主要教科の内容の指導を達成した。新しい学校行事の形を創造し、高い評価を得ることができた。
 ○服務事故0、いじめの重大案件0、不登校児童対策の改善、支援を要する児童への丁寧な指導、ICTの活用の充実などが推進できた。

課題
 ○学習規律の確立による授業への集中、忘れ物や遅刻などの生活習慣の改善を図る。
 ○一人一人に適した、学びの姿を確立する。AIドリルの活用を定着させたり、豊かな学びに繋がるタブレットの活用をしたりする。
 ○児童が成就感、達成感もてる学校行事を感染リスクを考慮した形で創設する。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間(年度) R:令和				
		R1	R2	R3	R4	R5
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	SDGsへの関心を高め、実行する	○	○	○	○	○
3	体力の向上	○	○	○	○	○
4	保護者・地域との連携による教育の充実	○	○	○	○	○

5 令和4年度の重点目標

重点的な取組事項-1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)			コメント・課題	達成度 ◎○△●		
授業力向上により、児童の学習意欲を高め基礎学力を向上させる。		・国語 80% 算数 80% ・低位層の児童を減少させ中位に引き上げる							
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	教師の授業力の向上	①②④全学年、全教科 ③全学年 国語・算数	・毎日 ・毎週 ・毎月	① タブレットの活用を ICT 活用年間計画通りの実施 ② 毎日の授業観察と指導・助言 ③ 教科専門指導員による計画的な授業の立案と事後指導による授業力の育成 ④ 相互授業観察、自主授業公開の実施	週の計画・授業観察 児童アンケート	・実施率 100% ・授業で対話、振り返りの実施率 80% ・アンケート評価「授業がわかる」90%			
2 継続	細やかな学力向上	①②③④⑤全学年 ④1年生 そだち	・通年 ・長期休業日前の月	① AIドリルの効果的な活用 ② 単元終了時のテスト結果分析 ③ 読書活動の充実 ④ 10ます計算 ⑤ MIMの確実な定着 ⑥ 放課後の個別補習 ⑦ 長期休業日の個別課題と学習教室の実施	・単元のまとめワークテスト実施 ・実施状況把握	・単元のまとめのテストで全児童80点以上または達成率8~90% ・実施率 100%			

3 継続	補充学習の充実	①全学年 算数・国語 ②全学年 算数 ③全学年 算数・国語	・毎週 ・単元終了時 ・全ての 長期休業日	① AIドリルを活用した補充学習の実施 ②全学年の算数の単元終了時のまとめのテスト結果を管理職に報告し個別指導の実施 ③週1回の放課後の補充学習教室、長期休業中の学習教室を実施する。	・実施報告 (週の計画) (集計表)の提出	・実施率100%			
4 新規	学習規律の確立	① 3年以上、 算数・国語 ② 全学年 全授業 ③ 全学年 週1回以上	・毎日 ・週1回	① AIドリルを活用した家庭学習 ② 学習ルールの確立、実行 ③ 宿題・自主学習ノートによる家庭学習の習慣の定着と「学びに向かう力」の向上を図る。	① 実施報告 (データ・週の計画) での提出 ② 管理職巡回 自己評価シート ③ 自主学習ノート	・宿題の実施率 100% ・ルール実行率90% ・自主学習の提出率 2～6年生 90%			
5 継続	中学校との連携した学力向上	① 全学年 ② 全学年、 ③ 全学年 ④ 全学年	・通年 ・毎月 (年4回) ・夏季休業 (5回)	①「ICTの授業で活用について」授業実践を通して研究する。中：3回、小：1回 ②足立スタンダードの徹底 ③「自主学習ノート」の定着 ④小中相互の教員が連携・協働	・年4回の講師を招聘した研究会の実施 ・授業観察(週の計画)の提出 管理職巡回	・実施率100% ・連携部会年8回			

重点的な取組事項－2		SDGsへの関心を高め、実行する			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
「よく見る」「感じとる」そして、「実行する」児童の育成		・あいさつ運動実施率 100% ・SDGsへの意欲的取り組みの評価 90%			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
豊かな人間関係の育成	いじめゼロ、不登校ゼロ(年度末に継続している件数)	・代表委員会のいじめ防止活動 ・集会活動、学校行事をコロナ対応バージョンに改善・実施 ・アンケート分析、SC、SSW等の効果的な活用と連携 ・特別支援教育の推進 ・なかよし学級との交流			
地域や近隣の河川の環境への関心を高める	① 5年生 ② 全学年 100%達成	① サケの飼育の活動を通して、荒川への関心を高める ②近隣の清掃活動を計画的に実施する一人一人の活躍の場をつくり自己肯定感を高める。			
「早寝・早起き・朝ごはん」の徹底	90%達成	・「いきいき生活頑張りカード」年2回実施(長期休業あけ)、 ・自己評価、保護者評価の向上			

重点的な取組事項－3		体力の向上			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
体力テストで都の平均を上回る		全学年が都の平均を超える			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体力向上部会による体育授業の改善	・体育の授業に計画的に進め一人一人の児童の運動量を5%増やす	・体力向上部会が実態・行事に合わせ得た指導計画を立案し、実施する。 ・教材研究、授業準備を学年で検討する。 ・児童の運動量を随時測定し、統計資料化、情報共有し部会で対応策を実施する			
スポーツ指向の意識を高め、体を動かすことが好きな児童を育てる	「運動することが好き」の回答80%以上 ・学校2020レガシーを身に付ける	・体育朝会の創設 ・ストレッチ・コーディネーショントレーニング、体幹等のトレーニング導入 ・SDGsの視点からの運動を実施する。			
体力向上部会による日常の体力向上策	・コロナ禍による運動機会の減少による基礎体力の低下を改善する。 ・測定時に平均以下の項目を年度末には平均を超える	・感染拡大防止を配慮した多様な遊びと運動機会の設定 ・泳力の低い児童への特別な指導の実施 ・遊具の効果な活用による運動量増加 ・担任が児童と共に運動する機会の増加 ・実態に合わせた実施内容の改善 ・3年ぶりの持久走記録会の実施 ・持久走記録会に向けた業間体育の実施 ・年2回のなわとび週間の設置			

重点的な取組事項－４		保護者・地域との連携による教育の充実			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
With コロナに対応した 新しい活動の創造		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍に配慮した、新しい形の行事を創設する。 ・2年延期した音楽会の実施 ・学校からの発信についてアンケート肯定的評価 90% 			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
学校行事の改善	アンケート・学校評価の 肯定的評価の回答 85%	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にあっても、児童の表現力の育成や保護者の鑑賞方法を創設する。 ・運動会の練習時間の削減と午前中実施による児童の負担軽減 ・感染リスクを下げた音楽会の創成 ・開かれた学校づくり協議会、PTA 役員会による意見を丁寧に聞き、改善に生かす。 			
連携した諸活動の 充実	地域の行事への参加 江南中学校との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・防災宿泊学習等の地域行事への参加 ・中学校の授業・部活・百人一首、合唱コンへ小学生が参加 ・小学校の補充教室・ソーラン、読み聞かせ中学生が参加 			
保育園、幼稚園との 連携	年間3回、各教員の研修	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の年間計画を作成し、情報を共有し、交流研修や公開保育の参観、学校行事への招待、園との情報交換を実施する。 			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）